レッスン２　口頭英作文用

Part1

1. 1969年のある日、ジョンとエースはロンドンの混みあったデパートで売り物の赤ちゃんライオンを見つけた。家族のためにクルスマスプレゼントを探していた時に。
2. 彼らは小さいケージに入れられたそのライオンを気の毒に思い、最終的に買うことにした。

Part2

1. 2人はその赤ちゃんライオンにクリスチャンと名前をつけ、すぐにそのライオンと仲良くなった。
2. 最初はロンドンの人々は、ジャーナリストたちも、クリスチャンを見て含め驚いたが、すぐに彼のことが好きになった。
3. しかしジョンとエースはまもなく彼とお別れするしかないだろうと気が付いた。
4. なぜならクリスチャンは大きくなりすぎて街中で一緒に住むことは出来ないからだ。

Part3

1. ある日、エースはクリスチャンが野生動物なんだとショックを受けながらも理解した。クリスチャンが彼に本当に怒ったときに。
2. アフリカから来たライオン専門家であるジョージが彼らにクリスチャンは他のライオンと野生で過ごすことがベストであろうと助言した。
3. そこで彼らはクリスチャンをケニヤに連れていき解放した。
4. ジョンとエースはクルスチャンが野生での生き方を学ぶと、彼をそこに残して彼のもとを去った。

Part4

1. 翌年ジョンとエースがアフリカに戻ったとき、ジョージは彼らにクリスチャンは他の野生のライオンと同じように行動しているから彼にあまり近づかないように言った。
2. しかし彼らがフィールドにつくと、クリスチャンはすぐに彼らを認識し、彼らのもとにかけてきて、喜びを示した。
3. 2人は本当の友情や愛というものは永遠に続くものだと理解した。